

滋賀産業保健  
総合支援センター  
からのご案内

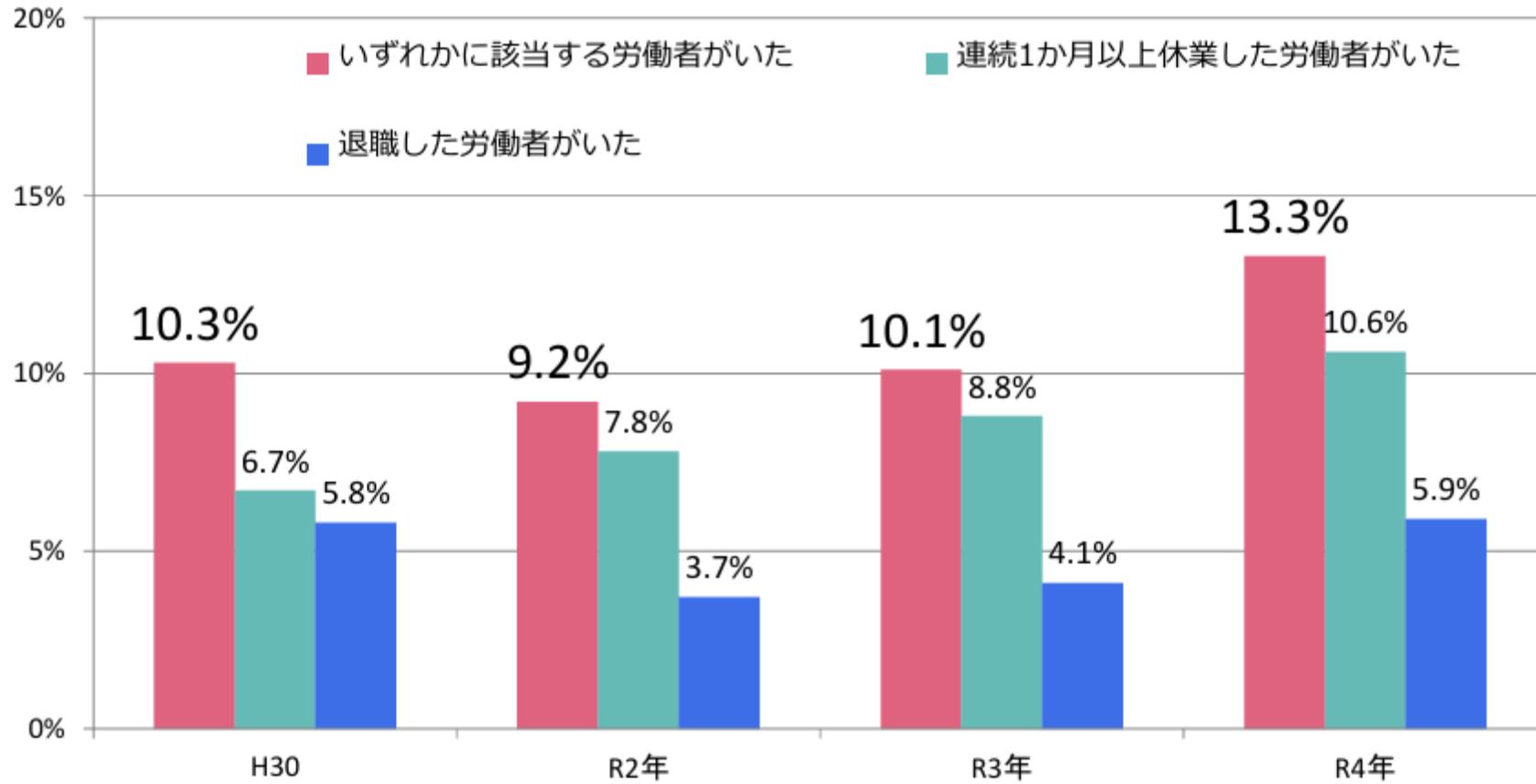
「治療しながら働き続ける」  
に向き合っていただいている企業様  
の取組を支援しています



滋賀産業保健総合支援センター  
副所長 岩永 祐喜

日時 令和6年12月18日

## メンタルヘルス不調により休業または退職した労働者がいる事業所の割合

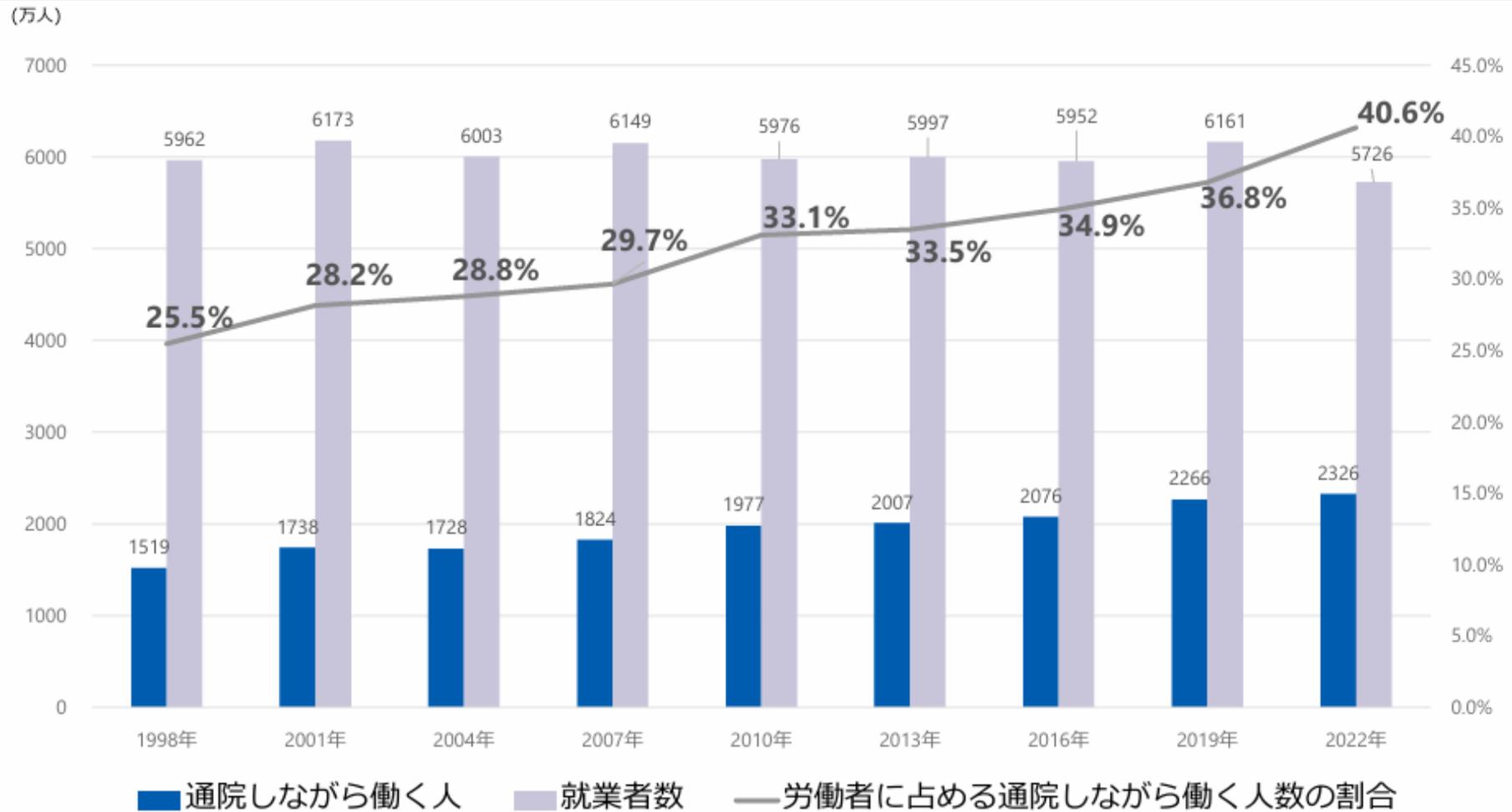


10人以上事業場対象

出典：厚生労働省 労働安全衛生調査（実態調査）

# 疾病を抱える労働者の通院状況

・何らかの疾患で通院している就業者は約3人に1人を超えており、その割合は増加傾向。



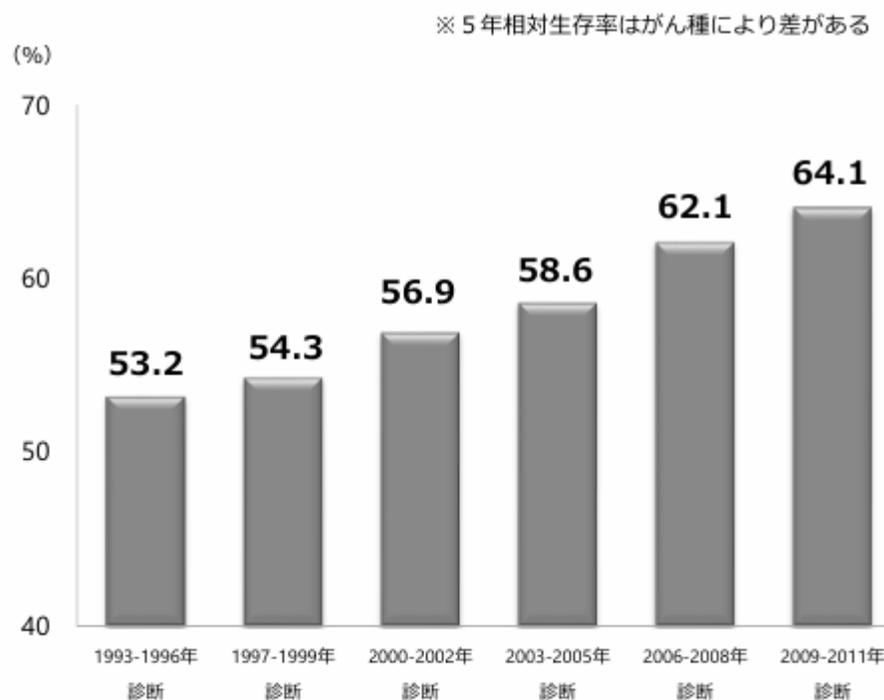
1. 入院者は含まない 2. 15歳以上の者 3. 就業者数は世帯人員のうち「仕事あり」の者  
4. 2016年の数値は、熊本県を除いたもの

資料出所：厚生労働省「国民生活基礎調査」

# 疾病を抱える労働者の就業可能性（がんを例として）

- がんの生存率は年々向上しており、2009-2011年にがんと診断された人の64.1%は5年後も生存している状況にある。
- 近年、がんにおいても、治療の副作用や症状等をコントロールしつつ、通院しながら治療を受ける患者が増えている。

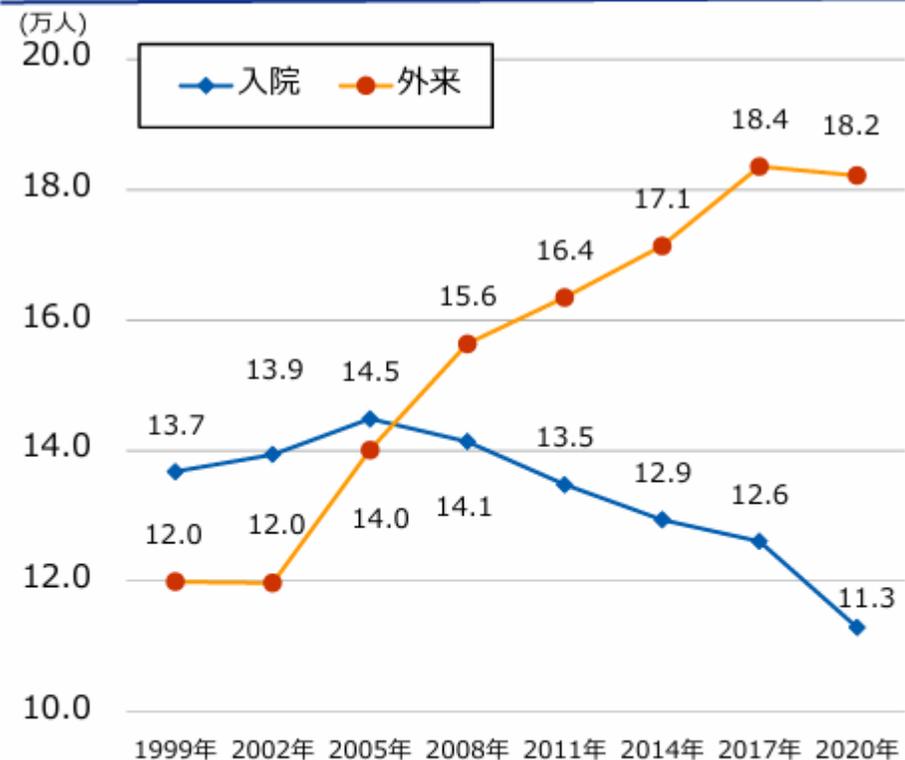
## がん患者の5年相対生存率※の推移



資料出所：がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計報告書

（「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン（令和6年3月）」に掲載）

## がんの入院患者・外来患者数の推移



資料出所：厚生労働省「令和2年患者調査」

# 疾病を理由に退職した者の退職した時期

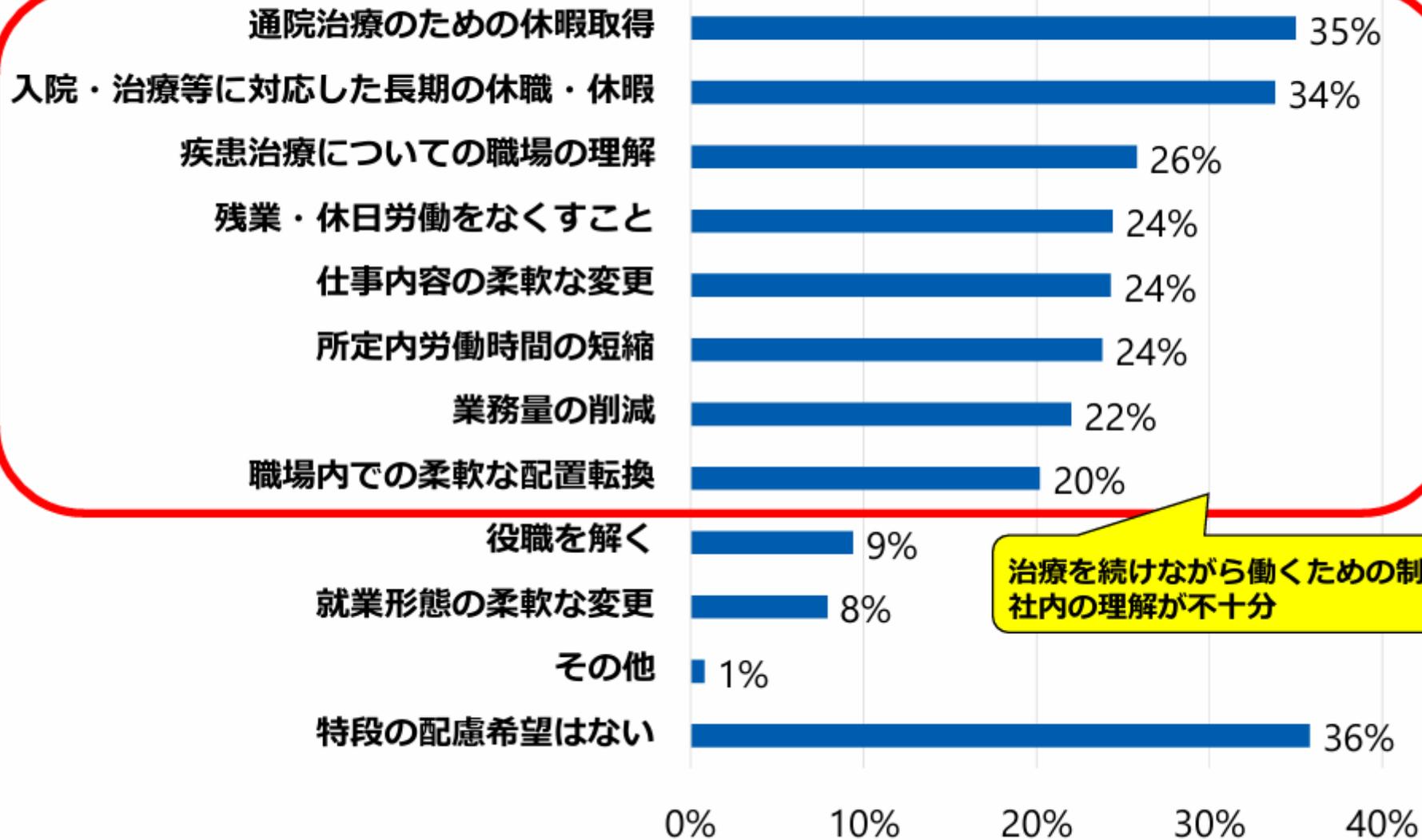
- ・ 疾病を理由に退職した者の4人に1人は、最初の治療が開始されるまでに退職している。

(単位：%)

退職した時期（治療段階）	割合	
診断確定時	12.0	} 治療開始前
診断から最初の治療まで	13.3	
最初の治療中	31.2	
治療終了後から復帰まで	11.0	
復帰後	22.1	
再発後	10.4	
治療開始前・計	25.3	

## 治療と仕事の両立支援の現状と課題

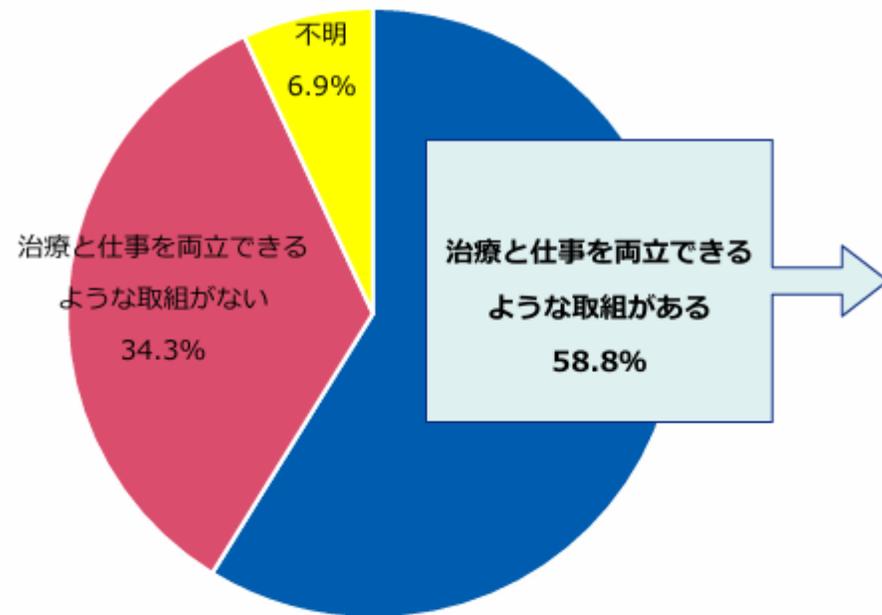
＜疾病を抱える労働者が職場に希望する配慮事項（複数回答可）＞



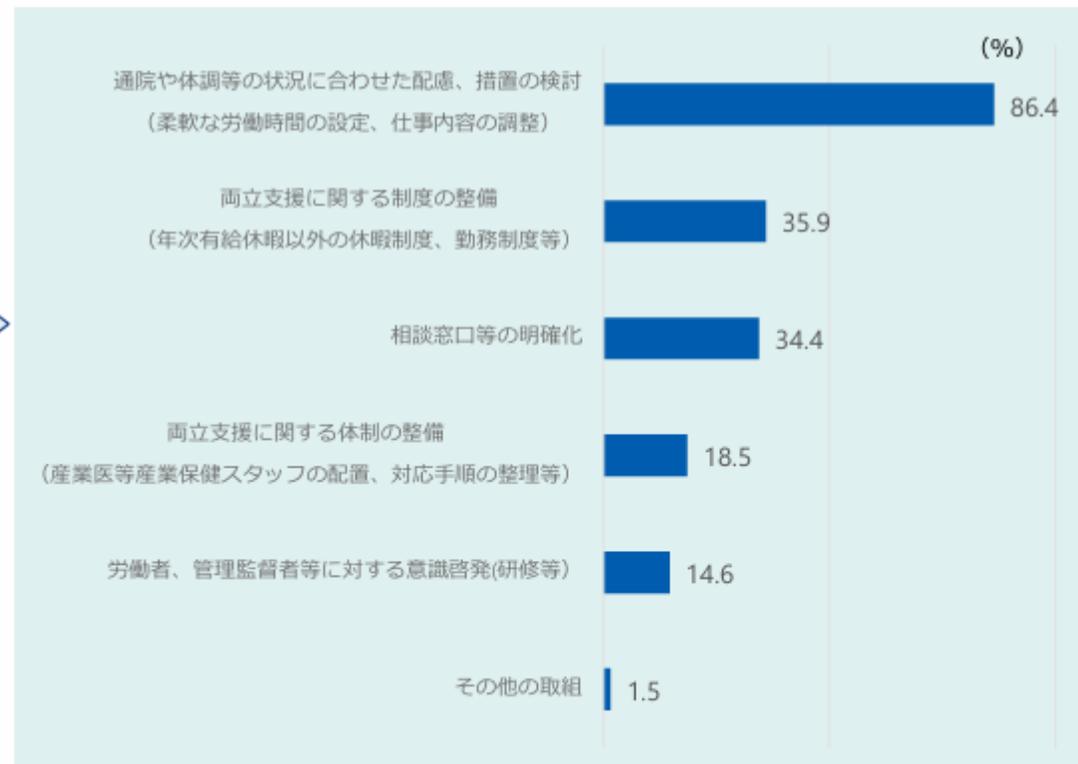
# 事業所における治療と仕事を両立できるような取組状況

- 事業所における治療と仕事を両立できるような取組について、58.8%が「取組がある」と回答しており、取組がある事業所では「通院や体調等の状況に合わせた配慮、措置の検討」等、様々な取組を実施している。

## 治療と仕事を両立できるような取組の有無



## 治療と仕事を両立できるような取組の内容



# 治療と仕事の両立支援のためのガイドライン

労働安全衛生法では大まかな内容のみ記載され、事業場において具体的な実施事項等については、**事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン**により示されています。



# ガイドラインの内容

事業者が行うべき両立支援の取組事項を、病気ごとの留意事項を含めて取りまとめたもの。

## 対象労働者

雇用形態いかんに関わらず  
全ての労働者

## 対象疾患

反復・継続した治療が必要な  
全ての疾病

## 事業場における両立支援のための環境整備

- 事業者による基本方針の表明と労働者への周知
- 研修等による両立支援に関する社内啓発
- 相談窓口の明確化、社内における両立支援体制の整備
- 個人情報の取扱方法の明確化
- 治療内容や症状、業務内容や通院・通勤事情など個人の状況に配慮した休暇制度・勤務制度等の整備 (例) 時間単位の有給休暇、病気休暇、時差出勤、テレワーク、短時間勤務等



## 事業場における両立支援の実施手順



勤務情報提供書

治療の状況や就業継続の可否等についての主治医意見書

(診断書と兼用)

(主治医所属・氏名)

先生

今後の就業継続の可否、業務の内容について職場で配慮したほうがよいことなどについて、先生にご意見をいただくための従業員の勤務に関する情報です。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

+

従業員氏名		生年月日	年	月	日
住所					
職種					
職務内容	(作業場所・作業内容)				
	<input type="checkbox"/> 体を使う作業(重作業) <input type="checkbox"/> 体を使う作業(軽作業) <input type="checkbox"/> 長時間立位 <input type="checkbox"/> 暑熱場所での作業 <input type="checkbox"/> 寒冷場所での作業 <input type="checkbox"/> 高所作業 <input type="checkbox"/> 車の運転 <input type="checkbox"/> 機械の運転・操作 <input type="checkbox"/> 対人業務 <input type="checkbox"/> 遠隔地出張(国内) <input type="checkbox"/> 海外出張 <input type="checkbox"/> 単身赴任				
勤務形態	<input type="checkbox"/> 常勤勤務 <input type="checkbox"/> 二交替勤務 <input type="checkbox"/> 三交替勤務 <input type="checkbox"/> その他( )				
勤務時間	時 分 ~ 時 分 (休憩 時間、週 日間) (時間外・休日労働の状況: ) (国内・海外出張の状況: )				
通勤方法	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 公共交通機関(若座可能) <input type="checkbox"/> 公共交通機関(若座不可能)				
通勤時間	<input type="checkbox"/> 自動車 <input type="checkbox"/> その他( ) 通勤時間: ( )分				
休業可能期間	年 月 日まで ( 日間)				
有給休暇日数	残 日間 ※給与支給 年 月 日まで、以降は 傷病手当金 ( % )				
その他特記事項					
利用可能な制度	<input type="checkbox"/> 時間単位の年次有給休暇 <input type="checkbox"/> 傷病休暇・病気休暇 <input type="checkbox"/> 時差出勤制度 <input type="checkbox"/> 短時間勤務制度 <input type="checkbox"/> 在宅勤務(テレワーク) <input type="checkbox"/> 試し出勤制度 <input type="checkbox"/> その他( )				

上記内容を確認しました。

令和 年 月 日 (本人署名)

患者氏名		生年月日	年	月	日
住所					

病名					
現在の症状	(通勤や業務遂行に影響を及ぼし得る症状や薬の副作用等)				
治療の予定	(入院治療・通院治療の必要性、今後のスケジュール(半年間、月1回の通院が必要、等))				
退院後/治療中の就業継続の可否	<input type="checkbox"/> 可 (職務の健康への悪影響は見込まれない) <input type="checkbox"/> 条件付きで可(就業上の措置があれば可能) <input type="checkbox"/> 現時点で不可(療養の継続が望ましい)				
業務の内容について職場で配慮したほうがよいこと(望ましい就業上の措置)	注) 提供された勤務情報を踏まえて、医学的見地から必要と考えられる配慮等の記載をお願いします。				
その他配慮事項	注) 治療のために必要と考えられる配慮等の記載をお願いします。				
上記の措置期間	年 月 日 ~ 年 月 日				

上記内容を確認しました。

令和 年 月 日 (本人署名)

上記のとおり、診断し、就業継続の可否等に関する意見を提出します。

令和 年 月 日 (主治医署名)

(注)この様式は、患者が病状を悪化させることなく治療と就労を再立できるよう、職場での対応を検討するために使用するものです。この書類は、患者本人から会社に提供され、プライバシーに十分配慮して管理されます。



支援センターについて

相談のご案内

研修・セミナーのご案内

機器・DVDのご案内

産業保健調査研究

## ▶ 研修・セミナーのご案内

産業保健に関する研修・セミナーを無料で実施。



産業医研修



産業看護職研修



労働衛生管理者・  
労務担当者研修



その他の研修

検索

# 滋賀産業保健総合支援センター



### メンタルヘルス対策支援

メンタルヘルス対策に取り組もうとする事業場を支援します。



### 地域窓口（地域産業保健センター）

事業主や従業員に対し、健康相談や保健指導サービスを行います。



### 治療と仕事の両立支援

両立支援を推進するために支援を無料で提供しています。



### 転倒災害、腰痛予防対策支援

転倒災害、腰痛予防対策に取り組もうとする事業場を支援します。